

令和六年十二月六日

## 小学校教育の充実・改善に関する要望書

全国連合小学校長会長

植村 洋司

様

将来の有益な人材の育成なくして我が国の持続的な発展はありません。全国の小学校長は、地域社会と一体となり、我が国の未来を担う子どもたちの教育に全力を注いでいます。

学校には、子どもたちの学びの保障と多様な幸せとともに日本社会に根差したウェルビーイングの実現を目指し、一人一人の可能性を最大限に引き出す教育を推進することが求められており、校長は、自らの使命に誇りをもち、リーダーシップを発揮し、国民の信託に応えられる学校づくりに努めています。

一方で、いわゆる教員不足や教員採用選考の大幅な倍率低下は、義務教育の根幹を揺るがす大きな課題です。この状況を打破し、質の高い教員を確保するための各自治体や学校の取組には限界があります。先の「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会 緊急声明」のとおり、中央教育審議会特別部会の答申を踏まえた国による改革とさらなる支援が不可欠です。

全国連合小学校長会は、子どもたちの将来と我が国の発展のため、また、二〇三〇年以降の社会を展望した教育を推進するためにも、人的・物的措置の一層の充実と教育諸条件の整備に向けて、左記の十一項目を要望いたします。格段のご高配をお願いいたします。

### 記

- 一 我が国の義務教育の質を高めるための公財政教育支出の充実及び、義務教育費国庫負担制度による国庫負担率二分の一の実現
- 一 教員不足や教員採用選考の倍率低下を解消し、優秀な人材を確保するため、高度専門職である教員の職責と長時間勤務の実態に見合った処遇改善及び、学部段階についても奨学金返還の優遇措置が受けられるなど奨学金制度等の見直し
- 一 学校における働き方改革を実現するために、教員一人当たりの持ち授業時数の考え方を導入するなど教員定数のより一層の改善や人的措置、諸条件の整備
- 一 次期学習指導要領改訂を見据え、新しい時代に必要となる資質・能力を見極め、子どもたちにとってカリキュラム・オーバーロードとならないよう指導内容及び指導時数の精選、
- 一 「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」の実現に向けた質の高い教育活動を実施可能とするための人的配置や施設・設備等の整備
- 一 特別支援学級及び通級指導教室の編制基準の引き下げ、並びに特別支援教育充実のための専門性の高い教員の確保
- 一 教員の「新たな学びの姿」を実現し、質の高い教職員集団形成のための研修等の充実
- 一 豊かな心や健やかな体の育成に向けた教育を充実させるための専門家の派遣等施策の充実
- 一 東日本大震災をはじめとする災害復興及び風化防止に関わる継続的な人的配置の充実及び施設・設備・教材等の迅速な復旧・整備
- 一 教育の機会均等を保障するためのへき地・小規模校の教育を充実させる施策の推進
- 一 コミュニティ・スクール等、学校、家庭、地域が一体となって教育を推進するための条件整備や施策等の充実